岡山大学学術成果リポジトリ登録依頼書（博士学位論文）

**≪記入例　EXAMPLE≫**

　○○○○　年　○○　月　○○　日

※正指導教員へこの書類の作成を依頼してください※

＊Please ask your supervisor to prepare this document.＊

正指導教員の先生へ

博士学位論文全文の公表は，印刷公表に代えてインターネット公表（PDFデータ）により行います。岡山大学では「岡山大学学術成果リポジトリ」での公表となります。

また，国立国会図書館でも全文データを保管し原則インターネットで公開します。

先生の方で，登録及び公開するにあたっての条件など，ご確認をお願いします。

岡山大学学術成果リポジトリ

http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja

岡山大学長　　殿

　私が執筆しました下記の博士学位（請求）論文について、「岡山大学学術成果リポジトリ」に全文の登録および公開を依頼します。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　名 | ○○　○○ |
| 研究科 | ○○○○ | 学生番号【博士(乙)申請者は記入不要】 |
| ○○○○○○○○ |
| 授与予定日 | 　　　　○○○○年　　　○○　月　　○○　　日 |
| 論文題目（学位論文題目が英語の場合は和訳を付記） | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

１．連絡先（修了後も連絡がとれるアドレス、電話番号を記入してください）

　　　メールアドレス：○○○○○＠○○○○○

　　　電話番号：○○○―○○○―○○○○

２．掲載・出版について（同一の内容を掲載・出版する場合のみ記入）

|  |  |
| --- | --- |
| 資料名(雑誌名等) | 参考論文は該当しません。学位論文本体または一部を掲載・出版する場合のみ記入してください。 |
| 巻 | 号 | ページ | 出版年月 |
|  |  |  |  |

３．登録及び公開するにあたっての条件

□　無

☑　有

☑　公開日を 　　2023　　年　3　月　25　日 以降に指定します。

※公開日を授与予定日から１年より後に指定する場合または未定の場合は、理由が必要です。

※公開日が未定の場合は日付を空欄にし、確定し次第、図書館にお知らせください。

□　以下の理由により 公開しません。

理由記入欄

学位論文の一部が国際雑誌の論文として掲載されており，別途公表することが認められていない　等

2022年3月25日授与の場合，

公開日を1年以内（2023年3月24日）に指定する場合は，理由不要です。

公開日を2023年3月25日以降にする場合は，理由を記入してください。

理由は，なるべく詳細に説明してください。

４．指導教員確認欄

|  |  |
| --- | --- |
| 正指導教員名 | 確認印またはサイン |
| ○○○○○ | 印 |

著作権についての注意事項

・共同研究者、共著者がいる場合は、事前に全員の許諾を得てください。

・論文中に他者の著作物が含まれる場合は、あらかじめ著作権処理が必要です

岡山大学学術成果リポジトリ登録依頼書（博士学位論文）

　　年　　　月　　　日

岡山大学長　　殿

　私が執筆しました下記の博士学位（請求）論文について、「岡山大学学術成果リポジトリ」に全文の登録および公開を依頼します。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　名 |  |
| 研究科 |  | 学生番号 |
|  |
| 授与予定日 | 　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 論文題目（学位論文題目が英語の場合は和訳を付記） |  |

１．連絡先（修了後も連絡がとれるアドレス、電話番号を記入してください）

　　　メールアドレス：

　　　電話番号：

２．掲載・出版について（同一の内容を掲載・出版する場合のみ記入）

|  |  |
| --- | --- |
| 資料名(雑誌名等) |  |
| 巻 | 号 | ページ | 出版年月 |
|  |  |  |  |

３．登録及び公開するにあたっての条件

□　無

□　有

□　公開日を 　　　　　年　　　　月　　　　日 以降に指定します。

※公開日を授与予定日から１年より後に指定する場合または未定の場合は、理由が必要です。

※公開日が未定の場合は日付を空欄にし、確定し次第、図書館にお知らせください。

□　以下の理由により 公開しません。

理由記入欄

４．指導教員確認欄

|  |  |
| --- | --- |
| 正指導教員名 | 確認印またはサイン |
|  |  |

著作権についての注意事項

・共同研究者、共著者がいる場合は、事前に全員の許諾を得てください。

・論文中に他者の著作物が含まれる場合は、あらかじめ著作権処理が必要です